

北海道乳幼児療育研究学会 第39回研究大会

トークセッション型シンポジウム

『わからなさ』や『失敗』から学んだこと
～私の中の「わからなさ」から得られたもの～

2025年10月4日(土) 15:00～17:20

北星学園大学 C館 400

トークセッションの趣旨

「わからなさ」は「わかりたい」につながるもの、「失敗」を経て成長するものと、先輩方から教えられてきました。

でも、みんなに頼られ、自信を持って行動し感謝されるような、「失敗しない自分」でありたいのも、本音としてはあるのだと思っています。

今回は、いろいろな経験談をショートトーク形式でやり取りし、「失敗」が糧になったこと、「わかる・伝わる」を感じた瞬間、「わかったつもりでいた自分」などを、話題提供者とフロアの皆さんと共有し、共感し合い、皆さんの明日からのエネルギーとなるようなセッションの場を一緒に作っていきたいと考えています。

話題提供者 自己紹介

佐々木順司 恵庭市立恵庭小学校

1993年 北海道教育大学旭川分校幼稚園課程卒業

1997年 北海道教育大学旭川校特別専攻科(情緒障がい)修了

千歳市立北栄小学校の特殊学級を皮切りに、石狩管内小学校の特別支援学級や通級指導教室(発達障がい)を担当。

玉手美和子 児童発達支援・放課後等デイサービス きらりこ

1981年 北広島市福祉センター（現子ども発達支援センター）指導員として入職

2023年 児童発達支援・放課後等デイサービス きらりこ開設

八木沢博光 社会福祉法人静内ペテカリ

1992年 保育士として静内ペテカリの園入職

2年目より『新ひだか児童養育相談センター』10年

放課後デイ『こどもサポートほっぷ』10年

現在、社会福祉法人静内ペテカリ総務部

トーク 一覧 P.1

- ① こどもの安定のために、
うまくいっていることは変えないほうが良い？
- ② 『将来のため』って誰のための？ のお話
- ③ 子どもの予後は分からない…
- ④ 知ったかぶりで指導に走る自分
- ⑤ 専門家気取りで話しかけて失敗した話

トーク 一覧 P.2

- ⑥ 休まず通っていたご家族と、休みがちなご家族の話
- ⑦ 支援で関わったつもりでだったが…の話
- ⑧ 服薬することは、免罪符を手にいれること？
- ⑨ 通園終了時にお母さんからの意外な感謝のことは…
- ⑩ 昔も今も寄り添うことしかできない…